



ひめゆり平和祈念資料館 HIMEYURI PEACE MUSEUM

ひめゆりの塔 HIMEYURI CENOTAPH [HIMEYURI-NO-TOU]

ひめゆりの塔は、1945年の沖縄戦で亡くなった
沖縄師範学校女子部・沖縄県立第一高等学校の
生徒や教師のための慰霊碑です。
沖縄戦の翌年、両校で最も多くの犠牲者を出した
ガマ(鍾乳洞)の上に建てられました。

ひめゆり平和祈念資料館は、1989年6月23日、
ひめゆり同窓会によって設立されました。
証言映像や当時の写真、壕の実物大模型などを
通して、ひめゆり学徒隊が体験した沖縄戦の
実相を伝えています。

Information

〒901-0344 沖縄県糸満市伊原671-1(ひめゆりの塔敷地内)

TEL 098-997-2100 / FAX 098-997-2102

開館時間.....午前9:00-午後5:25(入館は午後5:00)[年中無休]

入館料.....大人450円 / 高校生250円 / 小中学生150円

団体割引20人以上.....大人400円 / 高校生200円 / 小中学生110円

URL <http://www.himeyuri.or.jp/>

アクセス

車:那覇空港から車で約30~40分

那覇空港自動車道豊見城IC / 名嘉地ICより約20分

バス:那覇バスターミナルから[89]で約30分

→糸満バスターミナルから[82] 107[108]で約10分

→ひめゆりの塔前 下車



ひめゆり平和祈念資料館
ひめゆりの塔

沖縄県平和祈念資料館
沖縄県平和祈念公園・平和の礎





野田真雄校長を囲む沖縄師範学校女子部の生徒たち。修了式の日に 1944(昭和19)年3月25日頃

「ひめゆり」というのは、わたしたちの学校の愛称です。
 那覇市安里の校舎で、13歳から19歳の生徒、
 約1150人が学んでいました。
 勉強やスポーツにうちこみ、友達との楽しい時間を
 過ごした学校は、1945年の沖縄戦によって、なくなってしまいました。

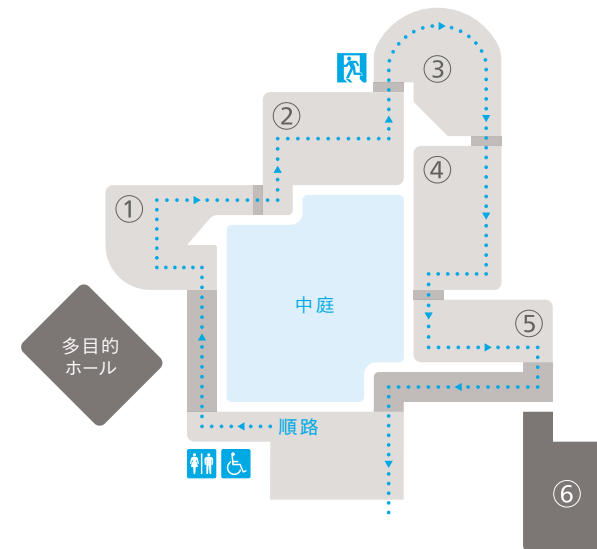
戦争は、学校だけでなく、友達や先生方の大切な命を奪っていきました。
 戦争は、いつも身近にあったのに、本当の戦場の姿を知らなかったわたしたち。
 わたしたちは、体験してはじめて知った、戦争の恐ろしさ、命の尊さ、
 平和の大切さを伝えていきます。

ひめゆり学徒隊とひめゆりの塔の刻銘者

沖縄戦では、両校から240人が沖縄陸軍病院に動員され、136人が亡くなりました。戦後、「ひめゆり学徒隊」と呼ばれるようになった生徒・教師たちです。両校では、ひめゆり学徒隊以外にも91人が沖縄戦で亡くなりました。

ひめゆりの塔には、学校全体の死亡者227人が刻銘されています。

ひめゆり学徒隊 136人
 その他在校生・教師 91人



① ひめゆりの学校

沖縄戦になる前のひめゆりの生徒たちの学校生活を紹介します。生徒たちは、戦争中の社会で育ち、当時の教育によって軍国少女に育っていました。

② ひめゆりの戦場

沖縄戦が始まると、ひめゆりの生徒たちは、沖縄陸軍病院に動員されます。戦争は、生徒たちの想像とは全く違い、活動は命がけでした。

③ ひめゆりの証言映像

沖縄戦を生き残った生徒たちの証言映像。60代～70代になったひめゆりの生徒たち。戦場跡を訪れて、沖縄戦で体験した出来事を語ります。

④ 鎮魂

沖縄戦で亡くなった227人の生徒と教師の鎮魂の空間。壁に掛けられた写真と名前は、ひとりひとりが生きた証です。大型証言本と伊原第三外科壕の模型で戦場を追体験します。

⑤ ひめゆりの戦後

生き残ったひめゆりの生徒たちの歩みを紹介します。沖縄戦の体験を語るができなかった長い時間を経て、ひめゆり平和祈念資料館の建設に乗り出します。

⑥ 平和への広場 ― 企画展示室

次世代の方々が平和について語り合う場として、2004年4月に増設しました。